

福祉文教常任委員会審査報告書

平成 30 年 12 月 19 日

飯綱町議会議長 清 水 満 様

福祉文教常任委員会委員長 石 川 信 雄

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので会議規則第 77 条の規定により報告します。

記

事件番号	件 名	審査の結果
議案第 79 号	飯綱町立放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 80 号	飯綱町児童館条例を廃止する条例	可 決
陳情第 2 号	観光協会会員宿泊施設に対するスポーツ施設等料金減額の件	採 択
陳情第 3 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	不採択

次に本委員会の審査の経過及び主な質疑、意見について報告します。

■議案第 79 号 飯綱町立放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例

質疑①：現在の牟礼西児童館の今後の計画を聞きたい。

回答①：歴史ふれあい館をリニューアルするので、倉庫として埋蔵文化財を保管したい。また、企画課で木工施設としての利用を計画している。

質疑②：補強の必要があるのではないかと。

回答②：全体として補強をする個所はないと考えている。木工施設としては企画課が改修を行う。

討 論：なし

採 決：全員賛成で可決とした。

■議案第 80 号 飯綱町児童館条例を廃止する条例

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全員賛成で可決とした。

■陳情第 2 号 観光協会会員宿泊施設に対するスポーツ施設等料金減額の件

説明者：一般社団法人 飯綱町観光協会長 古木惣一郎 氏

質疑①：夏場の利用はどのくらいか。

回答①：サッカー、野球など年間数本ある。

質疑②：町内宿泊施設利用者へ割引をするということはその分を町が負担するということだが、観光協会会員施設のみを対象とする理由付けを伺いたい。

回答②：一般家庭への民泊は規模が小さい。何十人か宿泊できる合宿対象の施設は観光協会に加入しているが、加入者でなくても登録制でも構わないと思う。

質疑③：以前は 1 者が多くを確保して他者が予約できないと聞いたが、その点はどうか。

回答③：信濃町では、町の産業課が取りまとめて割り振る機能があるのではないかとと思われる。割振りも必要と考える。

意見④：尚書き以降により他者を排除するのはどうか。

反対討論：観光協会は町から補助を受けている。今後、他の施設の割引にもつながりかねない。一つの団体だけのサービスは良くないと考える。

賛成討論：件名から「等」を抜いて、本文も該当箇所を訂正して認めるのは、宿泊施設の活性化にもつながるので良いと思う。

賛成討論：制度があれば、事業をやってみようかという事業者が増えるかもしれない。賛成である。

採 決：賛成多数で採択とした。

■陳情第3号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

説明者：長野県医療労働組合連合会 副執行委員長 大矢美奈子 氏

質疑①：陳情項目の3、「患者、利用者の負担軽減をはかること」を入れた理由は。

回答①：診療報酬を上げない限り人手不足は解消されないと思う。今の保険料を維持したままでの改善を求めている。つまり、職場環境の改善が保険料の値上げを伴うものであってはならない。

質疑②：なぜ、そのように書かなかったのか。また、これまでの分析は。

回答②：私個人の意見は言えないが、社会保障費が削減されている状況では人手の確保は難しい。

質疑③：国の政策を変えるような陳情の方が良いのでは。

回答③：医療費削減に関してはいろいろな方策があると思う。

質疑④：働き方改革の議論の中ではどうなっているのか。

回答④：医師も含め、タスク・シェアリングを進めた方が良いとの意見もある中で、結局は増員しないと解決されないと思う。

質疑⑤：陳情書でなくいただいた参考資料には、給与の不払いについての記述があるがどういうことか。

回答⑤：一例であるが、勤務時間に関するガイドラインが国から示されているが、会議出席なども勤務時間であるとなってきたのが実情で、これまではサービス残業も含め、そういったことが曖昧であったのではと思う。

意見⑥：不払いが発生するのは、病院の規模であるとかいろいろな要因もあり、一律に論じることは無理もある。

質疑⑦：病院間での待遇の差が発生するのはなぜか。

回答⑦：勤務実態はそれぞれの病院で差がある。同じ病院でも病棟によって差がある。そこへ日勤、夜勤とあり、一概にこうだと言えない。
大川事務長より説明を受ける。

反対討論：現状は理解でき、改善することはした方が良いが、議会として求めてもそうはならないであろうと思うので反対である。

賛成討論：議会で議論することも大事だし、政策が変わらなくても言い続けることが変わることへの一歩である。陳情内容を整理しても意見書を出すべき。

反対討論：陳情の趣旨は理解するが、掲げてあるいくつかの陳情項目に関連性がない。よって反対である。

賛成討論：女性が多数働いている医療・介護分野だが、女性が住みたくなる町を標榜している飯綱町が、安全・安心して住める町、健康で安心して働ける町であるために賛成である。

採 決：賛成少数で不採択とした。

以上